

平成29年度 第2回生活充実講話(交通安全)

平成29年4月17日実施

1 目的

生徒が自らの命を、自ら守る意識を高めるとともに、規範意識の高揚を図り、交通事故の未然防止を目指す。

2 交通安全講話 演題「危険予知による交通安全」

今回は高校生にとっては体験しがたいドライバーの視点から、交通ルール的重要性や自転車運転の危険性について、様々な実験映像を交え、分かりやすく話をしていただいた。

自動車、自転車、歩行者の3者がそれぞれの立場で交通ルールを守るという意識が大切であるが自分に権利があっても他者が交通ルールをきちんと守るとは限らないので安全確認の意識が常に必要である。特に細い道から優先道路に出ようとしている車との接触を避けるために見通しの悪い場合は車が来ているかもしれないと考えて速度を落としたり、一旦停止したりする必要があると指摘された。

また、自転車が加害者になってしまう可能性も十分にあるので、次のようなことを注意しながら自転車運転するようにアドバイスをいただいた。

- (1) 危険を予測すること。
- (2) 自転車運転に集中すること。
- (3) 時間に余裕を持って行動すること。
- (4) 保険に加入すること。



3 生徒の感想

今回の講話を聴いて、自転車は被害者にも加害者にもなる可能性があり、危険な乗り物であるということを知った。毎日通う通学路にも危険が潜んでおり、多くの守らなければならないルールがあることも分かった。スピードの出しすぎや一旦停止をしないなど自分の身に当てはまることもあったので今日学んだことを明日からの生活に生かしていきたい。

(1年男子)

